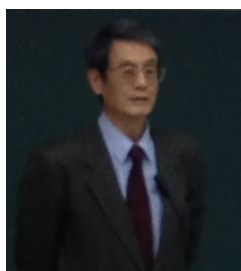


鈴鹿病態薬学研究会 第2回研究会

平成25年1月10日 鈴鹿医療科学大学薬学部（白子キャンパス）



演題 p-Medicine への道
 ー ゲノムとネット第2革命と健康イノベーション

講師 かみぬま つぐちか
 神沼 二眞 先生（NPO法人サイバー絆研究所理事長）

スマートフォンやタブレット PC の普及で、健康・医療・介護にまつわる情報（医療情報）は今や医療従事者だけではなく一般の消費者（生活者）においても利用・活用する時代にかわりつつある。これらの情報は、国民の健康増進につながる有用なものであるが、量が莫大であるため、サービスを提供する側と受ける側との関係を最適化するネットワークの構築が急務となっている。

今回の講演で神沼先生は、ゲノム解析から始まった Omics が疾患の理解や創薬にどうつながってきたか、そして今後、医療をどう変えるかなどについて、ご自身が深く関わってきた CBI 学会（Chem Bio Informatics Society）の活動とともに紹介された。このほか、健康と医学に関わる最新情報を生活者に効果的に伝達する仕組みづくり（モデル）を、すでに取り組まれている欧米の例と対比しながら提唱された。

講演会には約30名の参加者があり、医療情報ネットワークの構築における産・官・学の役割はどうあるべきかなどの質問があり、寒さを吹き飛ばす熱気あふれる研究会となった。



講演会場の風景（1303号室）